

平成28年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーIIのご案内

リハビリテーションがめざすもの
ー歯科との連携を考えるー

平成28年度同窓会学術セミナーII「リハビリテーションがめざすもの ～歯科との連携を考える～」のご案内をさせていただきます。

今回のセミナーは、本学の15期生で新潟リハビリテーション大学学長の山村千絵先生にお願いしました。リハビリテーション医療には摂食嚥下リハビリテーションも含まれ、歯科医療と密接な関連があります。山村先生には歯科とリハビリテーションの関連、連携についてもご講演していただきます。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、本セミナーは日本歯科衛生士会の研修1単位（臨牀研修コース）が取得できます。

日 程	平成28年10月16日(日) 10:30～12:00
形 式	講義
会 場	新潟大学歯学部講堂（2階）
定 員	50名
参 加 費	医師・歯科医師 4,000円 歯科衛生士を含む医師以外の職種3,000円
申し込み方法	4ページに記載
振り込み先	受講申し込み受付票に指定の口座
締め切り	平成28年10月7日(金)
問い合わせ先	同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページでお知らせいたします。

※自家用車で来られる方は構内か近隣の駐車場をご利用下さい（有料です）。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はいりません。ただし、代理出席は可能です。
受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

※本セミナーは、日本歯科衛生士会の研修1単位（臨牀研修コース）が取得できます。

主催：新潟大学歯学部同窓会 共催：新潟県歯科衛生士会

リハビリテーションがめざすもの ～歯科との連携を考える～

リハビリテーションとは、ラテン語でre（再び）habiris（適した）で、直訳すると「再び適した状態になること」を意味する。その医学的定義は、歴史的に大きな変遷を経てきており、現代では単に「失われた機能の回復」という意味ではなく「人間らしく生きる権利の回復」までも含むものとなっている。

私が学長を務める新潟リハビリテーション大学（以下、本学と略す）は、その名の通り、リハビリテーションを専門とする大学で“人の心の杖であれ”を教育理念として掲げている。リハビリテーション医療の中には理学療法、作業療法、言語聴覚療法などが含まれ、本学では、医療学部において理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）を養成するカリキュラムを展開している。また、今年度からは心理学を学ぶ専攻も設置した。大学院では、リハビリテーション研究科の中に、摂食・嚥下障害コース、高次脳機能障害コース、運動機能科学コースを設置している。

臨床各科が疾病を対象とし、その治療・治癒を目的としているのに対し、リハビリテーション医療は、疾病も対象とするが、むしろそこから派生した障害に目を向け、各人のQOLを向上させることを目的としている。すなわち、リハビリテーション（以下、リハビリと略す）がめざすものは、私たちが生きていく上での基本となる生活を支えることである。リハビリにおいては複雑な社会的要素も大きく関与してくるため、従来の臨床医学の範囲を超えたいくつもの異なる領域を含めた、新しい学際的な視野に立つことが重要である。

人の生活機能と障害に関する国際的な分類で最新のものは、WHOが2001年の第54回総会において採択した「国際生活機能分類（International Classification of Functioning, Disability and Health, 以下「ICF」と略す）」である。ICFでは、リハビリは障害というマイナス面を減少させることよりも、生活機能の増大をめざすプラスの医学として位置づけられている。つまり障害がなかった頃の生活へ戻るのではなく、新たな人生や生活に向けて医療人と障害者や家族が目標を共有しあうことから始まる。ICFの考えに基づいたリハビリは、様々な障害を抱えながらも、その人が望む生活や、その人らしい人生を送ることができるように支援していく、という方向付けである。

本セミナーでは、まず本学のPT,OT,ST養成カリキュラムを紹介し、3職種の業務について概説する。そして、歯科とリハビリ、特に隣接領域である言語聴覚療法との関連、連携等について考えてみたい。また、本学の教育・研究の特色の1つとして「地域に根差したものであること」が挙げられる。村上市に支えられた文化を持つ本学のリハビリは、必然的に、高齢化・過疎化などの問題を反映している。地域貢献および研究の一環として、村上支部老人クラブ連合会所属の高齢者を対象に「食べる力をつける教室（摂食嚥下機能向上をめざす教室）」や「転ばぬ筋力アップ教室（運動・認知機能向上をめざす教室）」を開催している。それらの取り組みについても紹介する。

講 師：

山 村 千 絵

＜現 職＞

新潟リハビリテーション大学 (<http://nur.ac.jp/> 新潟県村上市上の山2-16)

学長、大学院リハビリテーション研究科研究科長、摂食・嚥下障害コース長

教授（大学院担当科目：摂食嚥下障害学総論、口腔咽喉頭機能学、小児～成人期摂食嚥下障害学、口腔介護、摂食嚥下食品栄養学、研究指導 /

医療学部担当科目：摂食嚥下障害学概論、生理学実習、言語聴覚学演習Ⅰ）

学校法人北都健勝学園理事、高等教育コンソーシアムにいがた理事

日本私立大学協会評議員、村上市総合計画審議会市民・厚生部会副座長

＜略 歴＞

昭和60年 新潟大学歯学部歯学科卒業（15期生）、歯科医師免許取得、歯科医院勤務

昭和61年 新潟大学歯学部助手口腔生理学講座（～平成7年・平成11年～平成13年）

平成4年 博士（歯学）（新潟大学）

平成12年 新潟リハビリテーション専門学校非常勤講師（～平成22年）

平成17年 新潟リハビリテーション大学院大学設立準備室副室長（～平成19年）

平成19年 新潟リハビリテーション大学院大学（平成22年新潟リハビリテーション大学大学院に名称変更）リハビリテーション研究科研究科長、摂食・嚥下障害コース長、教授（～現在まで）

平成22年 新潟リハビリテーション大学医療学部教授（～現在まで）

平成24年 新潟リハビリテーション大学附属図書館長（～平成27年まで）

平成27年 新潟リハビリテーション大学学長（～現在まで）

＜現在の研究課題（研究代表者）＞

- ・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「地域高齢者の日常生活機能を向上させるプロジェクト」平成27～29年度
- ・日本学術振興会科学研究費補助金研究「咀嚼力の衰えた高齢者の栄養改善に向けた食べやすいソフトスチーム加工食肉の調整」平成26～28年度

タイムスケジュール：

10:00 受付開始

10:30 講演開始

質疑応答 10分程度

12:00 終了予定

申し込み方法

- * セミナー申し込み方法はメールでの受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。携帯から送信する場合は、必ずドメイン (@dent.niigata-u.ac.jp) 指定受信の設定をして下さい。
- * メールの先着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールでご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- * 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- * 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス (gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp) にメールでご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナーII申し込み」としていただきますようお願い申し上げます。

必要事項

氏 名 :

出身大学 :

何 年 卒 :

住所(含郵便番号) :

電話番号 :

メールアドレス :